

記入例

【参考様式1】

住宅宿泊事業に係る定期報告

2019年 6月 1日

茨城県知事 殿

事業者名

茨城 太郎

住宅宿泊事業法第14条に基づき、次のとおり報告します。

1	事業者名	茨城 太郎		
2	届出番号	第MOOOOOOOOOOO号		
3	定期報告の期間	2019年 4月 1日 ～2019年 5月 31日		
4	宿泊日数（3の期間内において、届出住宅に実際に人を宿泊させた日数を合算した数）	13	日	
5	5の数の国籍（出身地）別の内訳 （海外に居住する日本人については、「日本（日本国内に住所を有する者）」と分けて報告すること。）	日本（国内居住者）	4	人
		韓国		人
		台湾		人
		香港		人
		中国		人
		タイ		人
		シンガポール		人
		マレーシア		人
		インドネシア		人
		フィリピン	2	人
		ベトナム		人
		インド		人
		英国		人
		ドイツ		人
		フランス		人
		イタリア		人
スペイン		人		
ロシア		人		
米国	3	人		
カナダ		人		
オーストラリア	1	人		
その他		人		
6	延べ宿泊者数（3の期間内において、届出住宅に宿泊した各日の全宿泊者数を合算した数）	33	人	

※注意※
定期報告期間内に、届出住宅に人を宿泊させた実績がない場合も、宿泊日数等が「0」である旨の報告をする必要があります。

●延べ宿泊者数・・・
定期報告期間内の各宿泊日の全宿泊者数を足し合わせた数をいいます。
【例】
当該定期報告期間内に、
2人が4泊5日で利用（8人）、
3人が5泊6日で利用（15人）
した場合の延べ宿泊者数は23人となる。

右欄に国名を具体的に記載すること。
（海外に居住する日本人は、この欄に記入する。）

日本に住所を有している外国人は、「日本」に分類します。

※子どもや乳幼児も1人としてカウントすること。
※報告する内容については、別紙「定期報告に係る留意事項」を参照すること。